

# 新政いいだ 視察研修

三重県多気町 VISON  
滋賀県東近江市 発電 あぐり  
滋賀県長浜市 まちづくり  
岐阜県美濃市 廃校利用



## 交通の要衝として発展してきたまち 多気町について

三重県のほぼ中央、伊勢平野の南端に位置し、松阪市と伊勢市の中間にあります。北部を流れる櫛田川、南部を流れる宮川に囲まれたこの地は、**伊勢本街道、和歌山別街道、熊野街道**が通過する**交通の要地として発展**してきました。現在でも伊勢自動車道勢和多気JCT、J R線も多気駅から参宮線、紀勢本線へと分岐していく、県南部の交通の要衝です。

面積 103.17km<sup>2</sup>  
人口 13,304人（2024年9月1日）

3 | © 2024 Jones Lang LaSalle IP, Inc. All rights reserved.



## 多気町の名前の由来 多気とは

古くは「多気」、  
『**氣**』は命の意味、**多くの命を育む場所、**  
命を支えるのは『食』であることから、  
かの伊勢神宮が造営された頃より  
**食べ物がたくさん採れる場所**という意味が伝えられています。

### ■多気の潜在力と三重の「食」が融合したVISIONプロジェクト

- ①有名料理人、地域食材、温泉施設、デザインの4つを地方再生のフックとしたアクアイグニス（菰野町、2012.10開業）の成功を知った多気町長から出店のオファー
- ②薬草の町として歴史を刻んできた多気のポテンシャルと三重県の「食」を掛け合わせて何かできないかと話し合う中で、アクアイグニス以上の壮大な『VISION』プロジェクトが誕生（2013年）

### ■世界一の美食の街として知られるサンセバスチャンとの連携&日本の「食の聖地」をめざして

- ①VISIONを食の聖地にするため、美食の街として知られるスペイン・サンセバスチャン市を地方再生のモデルと位置づけ。同市長に直談判のうえ、多気町との間で「美食を通じた友好の証」を締結
- ②簡便さが優先され本物の「食」が失われゆく現在、日本の発酵文化や地域食材の支援をめざす

### ■伊勢神宮の式年遷宮にならって

- ①通常の商業施設は25年、30年という定期借家契約の上に建設され、壊すことを前提に作られている
- ②100年以上続く圧倒的なスケールの「もの」を作る覚悟で、社長立花とパティシエ辻口が土地を購入
- ③建物には県産木材をふんだんに使い、式年遷宮のように痛んだ部分を修繕しながら使い続ける

全景写真

VISION



## 宿泊施設

「住友林業株式会社」、「H.I.S. ホテルホールディングス株式会社」の新会社による宿泊施設は全室眺望の良いテラス付メインホテル、ラグジュアリーな滞在ができる旅籠、露天風呂付でラグジュアリーな滞在ができるヴィラ、それぞれ異なるコンセプトを提案します。

造形作家・陶芸家の内田 銅一氏を筆頭に、本プロジェクトに参加いただくデザイナー・クリエイターが各所を監修します。

VILLA VISON  
[ヴィラ・ヴィゾン]  
ラグジュアリーな  
滞在のヴィラ

6棟



HATAGO VISON  
[旅籠ヴィゾン]  
温泉と露天風呂を  
備えた旅籠

40室



HOTEL VISON  
[ホテル・ヴィゾン]  
眺望の良い  
テラス付きのホテル

151室

HIS 水と森の命 住友林業



VISION

## 【内閣官房】デジタルの力で、地方の個性を活かしながら社会課題の解決と魅力向上 デジタル田園都市国家構想『三重広域連携モデル』

単独自治体の行政施策だけでは困難な地域課題を産学官連携で解決



<活動経緯>

- 2019年12月 内閣府スーパーシティ構想アイデア公募参加
- 2020年10月 三重広域連携スーパーシティ推進協議会設立
- 2021年 4月 スーパーシティ国家戦略特区公募申請
- 7月 中央省庁合同スーパーシティ関連事業公募申請
- 8月 グリーンフィールド「VISION」グランドオープン
- 8月 経産省「新地域MaaS創造事業」採択
- 9月 国土省「スマートシティモデルプロジェクト」採択
- 9月 デジタル地域連携「Mie-coin」開発開始
- 11月 共通ID「Mie-ID」開発開始
- 11月 医療MaaS実証実験（経産省事業）開始





農林水産省「農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書」を取得（R8.3.13） VISON

証明事業：地域の協働による持続可能な地域づくりの促進を目的に、農山漁村の課題解決や地域活性化に向けた取組を行う企業等の活動を国が証明

### ■評価を受けたVISON取組：地域と連携した農業・生産・消費・学びをつなぐ拠点づくり

#### <新しい農と地域のかたち>

- ・有機栽培による農作物の生産・収穫（固定種や在来種を中心に年約100品種、3,500kg以上を生産）、収穫体験提供（年150人超）
- ・農園併設レストランでは、無農薬野菜を用いた付加価値の高い料理提供 等

#### <生産者が主役の「消費の場」提供>

- 生産者がより高い所得を得られる環境と地域発の商品開発支援
- ・海女による海女文化の発信と海女料理提供
- ・沖合底引網漁師による鮮魚販売・料理提供
- ・専業畜産農家による精肉店の運営 等

#### <地域をひらく実証と挑戦のフィールド>

- ・自然農法の現地講習を年間144時間実施
- ・農業未経験者や学生に向けた学習・体験の場の提供
- ・自動運転バス実証運行に向けた専用レーンや車庫の提供 等

#### <国内外に向けた「食」プラットフォーム>

- ・料理人を目指す高校生を対象とした「全国高校生ガストロノミー甲子園」の企画運営
- ・多気町とサンセバスチャン市との「美食を通じた友好の証」に基づくバスク食文化の紹介など国際的な食文化交流の推進 等

### ■今後の展望

地域生産者や事業者との連携を深めつつ、三重の食や農業の魅力を発信する拠点として、農山漁村の持続可能な発展に貢献してまいります。

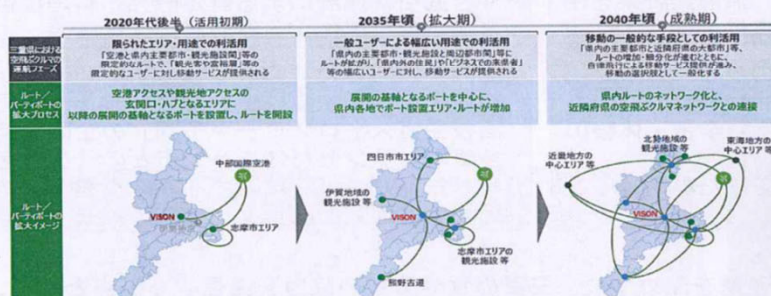
- ・町内農地所有者と連携した農作物の作付推進、施設内での地域農産物の活用促進
- ・農業系学校向けのインターンシップや講習の「場」の提供
- ・農業DXや自動運転バスなどの先端技術の実装フィールドとして、多気町や大学と連携しヴィンソンフィールドを提供 等

VISON

### 【三重県（雇用経済部）】陸と空の移動をシームレスに繋ぐ「空飛ぶクルマ」の拠点 空の移動革命の実用化に向けた取り組み



三重県と連携し「空飛ぶクルマ」を活用した、観光、交通、防災、市民生活等地域課題の解決を図り、地方における持続可能な社会の実現を目指す。



#### ■2024年度のヴィンソンでの取組

空飛ぶクルマに見立てたヘリを中部国際空港～VISONの間で運航させ、機体が発信するADS-Bの覆域・取得率を検証し、位置情報を活用した新たな事業創出の可能性を探る。

# 滋賀県東近江市

## 市民共同発電所

### 東近江市 市民共同発電所の歩み



1号機  
八日市やさい村  
(5.99kW)

2号機  
FMOがしおうみ  
(4.3kW)

3号機  
滋賀県平和祈念館  
(34.8kW)

2003年12月  
1号機 設置  
旧八日市市

2010年1月  
2号機 設置  
「三方よし商品券（地域  
商品券）」で分配開始

2013年5月  
3号機 設置  
(稼働中)



2009年5月

東近江市SUN讀プロジェクト キックオフ(八日市商工会議所と東近江市商工会が連携)

地域エネルギーの活用と売電益を地域内で循環させる仕組みに対する支援策として、平成24年6月25日に「東近江市公有財産への再生可能エネルギー発電設備の設置に係るガイドライン」を定めました。

#### 【制度の目的】

市民と行政が連携して自然エネルギーの普及を図るとともに、収益の一部を地域に還元すること。

#### 【対象者】

地域団体、非営利の法人組織、または特別認可法人。設置規模：最大出力 50 kW 未満の発電設備。賃貸料：建物の屋根面等に設備を設置する場合の使用料は、年間発電量に買取価格を乗じた額の 3% 以内の率で算定されます。

## 「三方よし」地域経済循環モデル

「環境・経済・社会」の三方よしを軸とした地域循環モデル

### 地域外流出の抑制：

売電収益を市内の加盟店でのみ使用可能な「三方よし商品券」で配当しています。これにより、通常の投資案件で見られる域外への利益流出を遮断しています。

### 地域経済の活性化：

“東近江市に降り注ぐ自然エネルギーによって得られた富を、エコ活動に取り組む市民の手によって地元の商工業振興に役立てる”というモデルを確立し、また市民・商工団体行政の連携によって、“自然エネルギーの利活用は地域経済の活性化にもつながる”ということを実証することが可能となりました。



## 売電単価の年度別推移(2009～2025) ※税抜き単価



## 卒FIT・設備老朽化への直面

# 20年

物理的・制度的限界点

FIT（固定価格買取）制度  
2012年7月～

買取期間：住宅用（10kW未満）10年間  
産業用（10kW以上）20年間

### 物理的・制度的ライフサイクルの限界

・**部品供給の払底**：初期の1号機・2号機は、現在のFIT制度以前の枠組みであり、法定耐用年数（17年）前後に伴うパワーコンディショナの故障や、旧型番部品のメーカー供給終了により、修繕が困難となる事態に直面しました。

・**旧買取制度の満了**：FIT以前の10年買取（余剰）が終了。売電単価が大幅下落し、修繕費を賄う経済性を喪失。

・**教訓**：設置すること以上に「20年後の出口（廃棄・更新費用）」の積立が不可欠です。

## カーボンニュートラル社会の実現に向けて



太陽光発電システム



蓄電システム



太陽熱温水器



コージェネレーションシステム

当市では、市民が取り組める地球温暖化防止活動の支援として、太陽光発電システム、蓄電システム、太陽熱温水器等の住宅用設備の購入を対象に奨励金を支給しています。

住宅用太陽光発電システムは、市の奨励金等の後押しもあり着実に普及が進んでいます。近年は固定価格買取制度（FIT）の価格低下に伴い、「売電型」から「自家消費型」へのシフトが顕著で、電気代高騰や災害時の停電へのレジリエンス（強靱性）を高める家庭用蓄電池の設置需要が大きく伸びています。

# 東近江市

あぐりステーション

## 1 (株)東近江あぐりステーションの概要

東近江イズム  
HIGASHIOMISM

### (株)東近江あぐりステーションの会社概要

- ① 八日市公設地方卸売市場内に事務所と商品化作業場を設置
- ② 冷蔵庫の導入
- ③ トラックの導入(運搬用3tトラック2台・インショップ配送車両3台)
- ④ 野菜専用包装機、玉葱選果選別機の導入



|            |                                                                                                                                        |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 設 立        | 平成30年4月18日                                                                                                                             |
| 資本金<br>株主  | 2,030万円<br>東近江市(1,000万円)<br>グリーン近江農業協同組合(440万円)<br>湖東農業協同組合(250万円)<br>滋賀蒲生町農業協同組合(180万円)<br>東能登川農業協同組合(130万円)<br>公益財団法人東近江三方よし基金(30万円) |
| 役員<br>従業員数 | 代表取締役 山 本 伸 治<br>取締役 南 川 喜代和(東近江市副市長)<br>取締役 藤 関 明 雄(一財)愛の田園振興公社理事長<br>監査役 西 谷 弘 士(グリーン近江農業協同組合常勤監事)<br>正社員5名 パート社員16名                 |
| 所在地        | 滋賀県東近江市市辺町2533番地<br>(東近江市八日市公設地方卸売市場内)                                                                                                 |



## 2 地域商社設立の経緯

東近江イズム  
HIGASHIOMISM

### 地域商社設立の経緯

#### ○小椋市長の素朴な疑問

なぜ、市内のスーパーには群馬県産のキャベツや長野県産のレタスばかりなの？東近江市産の野菜はないの？  
近畿最大の耕地面積なのに…

群馬産キャベツ 長野産レタス  
あわじ産玉葱



#### ○小椋市長の主張

農家が安定して「基本給」を得られる仕組みがなければ、  
就農する若者は出てこない！



#### ○「農業の30年問題※」への答えを示すために立ち上がる必要があった！！

※農業の30年問題 平成30年、国による米の生産数量目標配分及び米の直接支払交付金が廃止となった。  
米作地帯の当市において農家所得への直撃は避けられない事実であった。

#### 儲かる農業への転換！

#### 米・麦・大豆と野菜の収支比較

|               | 麦          | 米          | 大豆          | 麦+大豆        | 玉ねぎ         | キャベツ        | きゅうり<br>(施設)  |
|---------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 経費            | 28         | 40         | 68          | 96          | 118         | 136         | 1,349         |
| 収入<br>(うち補助金) | 70<br>(59) | 120<br>(一) | 152<br>(59) | 202<br>(94) | 346<br>(34) | 379<br>(34) | 2,242<br>(34) |
| 収支            | 42         | 80         | 84          | 106         | 228         | 243         | 893           |



10aあたり 単位:千円

滋賀県農業経営ハンドブックより

○平成29年度 滋賀県、東近江市、4JAで組織する東近江プライマリーCo. 協議会を設立  
先進地の地域商社から指導、助言を受けながら、市内農産物を地域のスーパーや小売店等へ流通させる「地域内中規模流通」の構築  
に向け、地域商社の設立を目指した。

○平成30年度 4月18日 株式会社 東近江あぐりステーション を設立 (資本金:市1,000万円・JA1,000万円を出資)

## 3 地域商社による中規模流通システム

東近江イズム  
HIGASHIOMISM

### (1) 地域商社が担う中規模流通

#### 大規模流通(市場流通)

生産者 → JA → 市場 → 問屋 → 店舗等

★メリット  
大量出荷ができる。  
★デメリット  
大産地等ブランドがなければ  
競争力が低く価格が乱高下する。

#### 中規模流通 (地域商社)

生産者 → JA → 株式会社 東近江あぐりステーション → 地域の店舗等

★メリット  
出荷された野菜等は安定価格で買取るため、安定的な収入が見込める。  
商品化作業は地域商社が行うことから、生産に集中できる。  
★デメリット  
大量出荷は見込めない。

#### 小規模流通(直売)

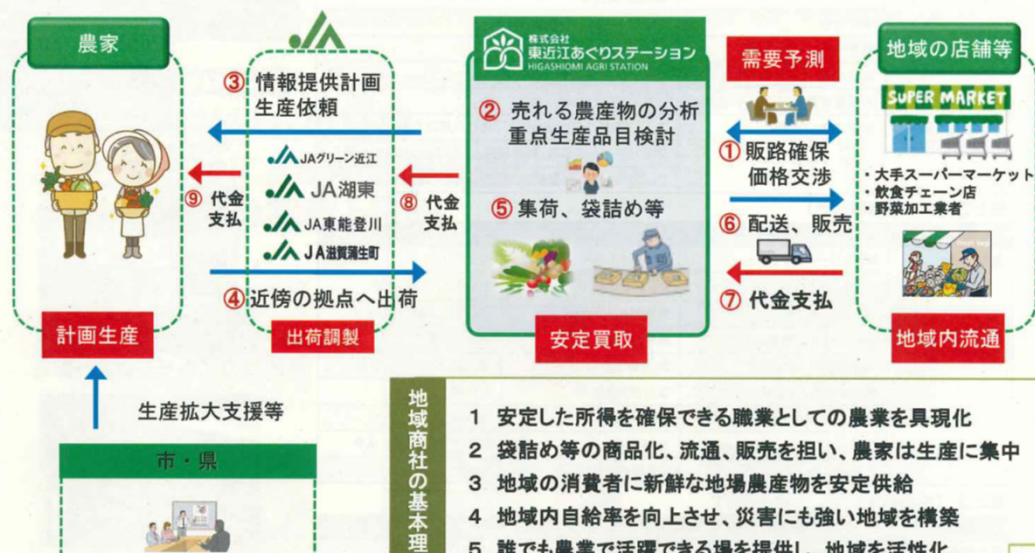
生産者 → 直売所

★メリット  
生産者は売値を決めることができる。  
★デメリット  
商品管理は生産者が行うため、売れ残りは持ち帰りとなる。  
そのため安定収入の確保は困難である。

### 3 地域商社による中規模流通システム

東近江イズム  
HIGASHIOMISM

#### (2) 地域内中規模流通の仕組み



### 3 地域商社による中規模流通システム

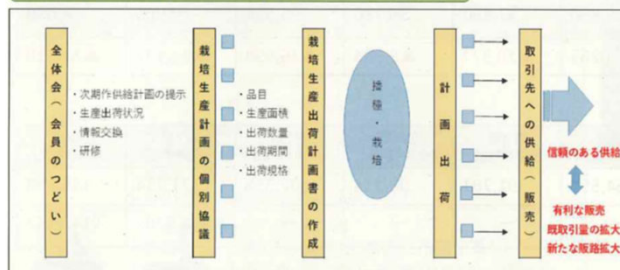
PIONEER CITY  
東近江イズム  
HIGASHIOMISM

#### 3) 生産者組織の構築

##### ○あぐり生産振興会の設立と運営

取引先である大手スーパーや飲食チェーン店、食料製造会社等の需要に即した周年の地場野菜を安定的かつ計画的に生産出荷する体制を確立するため、地域内中規模流通の仕組みづくりに賛同し、共に取り組んでいただける生産者とともにあぐり生産振興会を発足しました。  
(令和2年12月1日)

##### あぐり生産振興会 会員登録～計画出荷



##### あぐり生産振興会会員の特徴

- ①年会費なし
- ②会の役職就任なし
- ③都度入退会可能



| 会員数  |    |
|------|----|
| 農業法人 | 26 |
| 個人農家 | 68 |
| 部会等  | 5  |
| 会社法人 | 9  |

令和8年3月31日現在

## 4 地域商社の実績と役割

南近江イースム  
HIGASHIOMISM

### 売上①【生鮮販売】

| 販売形態                 | 販売先             | 店舗名                         |
|----------------------|-----------------|-----------------------------|
| 買取販売                 | イオンリテール㈱        | 草津店(草津市)                    |
|                      |                 | 近江八幡店(近江八幡市)                |
|                      |                 | 長浜店(長浜市)                    |
|                      | ㈱平和堂            | 県内店舗(センター納品)                |
|                      | ㈱アドバンス(㈱万代)     | 大阪・京都店舗(センター納品)             |
|                      | 旭食品㈱(㈱トリアル)     | 大阪(センター納品)                  |
| インショップ販売<br>(消化仕入方式) | ㈱滋賀有機ネットワーク(生協) | 近江八幡市(センター納品)               |
|                      | ㈱平和堂(7店舗)       | アル・プラザ八日市店(市内)、近江八幡店(近江八幡市) |
|                      | 市内 4店舗          | フレンドマート湖東店、能登川店、八日市妙法寺店(市内) |
|                      | 市外 3店舗          | フレンドマート八幡店(近江八幡市)、竜王店(竜王町)  |



平和堂 地場産コーナー(インショップ販)  
市内4店舗、市外3店舗

### 売上②【加工業務用販売】

| 販売形態 | 販売先           | 店舗名及び業務     | 供給商品          |
|------|---------------|-------------|---------------|
| 買取販売 | ㈱リンガーハット      | 長崎ちゃんぽん     | キャベツ          |
|      | プライムデリカ㈱      | セブンイレブン向け総菜 | キャベツ、大根、人参    |
|      | (農)近江農産組合     | 漬物製造        | きゅうり、大根、キャベツ  |
|      | (農)滋賀第五農産組合   | 漬物製造        | 白菜、大根         |
|      | ㈱陣屋商店         | カット野菜       | 青ねぎ、かぼちゃ、冬瓜   |
|      | ㈱淡路ふるさと産業     | 玉ねぎ加工販売     | 玉ねぎ           |
|      | ㈱ピッルスコーポレーション | 漬物製造        | かぶら           |
|      | ㈱ベジカフーズ       | カット野菜       | 白菜、かぼちゃ、玉葱、人参 |
|      | 九鬼産業㈱         | ごま製品製造      | ごま            |



### 売上③【企業給食】

| 販売形態 | 販売先   | 配送先           | 供給商品   |
|------|-------|---------------|--------|
| 買取販売 | 中央物産㈱ | Panasonic草津工場 | 米、野菜全般 |
|      | ㈱LEOC | 村田製作所八日市工場    | 米、野菜全般 |

## 4 地域商社の実績と役割

南近江イースム  
HIGASHIOMISM

### 過年度の実績

収支実績(単位:千円)

|            | 第1期<br>(平成30年度) | 第2期<br>(令和元年度) | 第3期<br>(令和2年度) | 第4期<br>(令和3年度) | 第5期<br>(令和4年度) | 第6期<br>(令和5年度) | 第7期<br>(令和6年度) | 第8期<br>(令和7年度) |
|------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上高        | 96,004          | 190,711        | 211,580        | 209,418        | 221,053        | 225,685        | 310,814        | 327,786        |
| 売上原価       | 71,380          | 142,012        | 151,463        | 162,315        | 174,258        | 186,115        | 248,990        | 261,648        |
| 売上総利益      | 24,623          | 48,699         | 60,116         | 47,102         | 46,795         | 39,569         | 61,823         | 66,138         |
| 販売費及び一般管理費 | 46,726          | 69,951         | 56,850         | 57,480         | 56,780         | 56,524         | 75,960         | 78,658         |
| 営業利益       | ▲22,102         | ▲21,251        | 3,265          | ▲10,377        | ▲9,984         | ▲16,954        | ▲14,137        | ▲12,519        |

市内産仕入実績(単位:千円)

|                  | 第1期<br>(平成30年度) | 第2期<br>(令和元年度) | 第3期<br>(令和2年度) | 第4期<br>(令和3年度) | 第5期<br>(令和4年度) | 第6期<br>(令和5年度) | 第7期<br>(令和6年度) | 第8期<br>(令和7年度) |
|------------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 市内産仕入高           | —               | 74,667         | 64,555         | 91,781         | 98,214         | 102,358        | 121,214        | 145,293        |
| 内、認定新規<br>就農者仕入高 | —               | —              | —              | —              | —              | —              | (10,928)       | (14,534)       |

市内農家出荷数(単位:市内農家) ※( )内は全体

|         | 第1期<br>(平成30年度) | 第2期<br>(令和元年度) | 第3期<br>(令和2年度) | 第4期<br>(令和3年度) | 第5期<br>(令和4年度) | 第6期<br>(令和5年度) | 第7期<br>(令和6年度) | 第8期<br>(令和7年度) |
|---------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 市内農家出荷数 | 68(85)          | 132(169)       | 169(209)       | 151(175)       | 141(171)       | 140(181)       | 147(178)       | 147(202)       |

7農家

7農家

# 滋賀県長浜市

NPO法人 まちづくり役場

## 長浜市の沿革



- 秀吉公が初めて城持ちとなった町(楽市楽座政策:商業の発展)
- 受け継がれる市民自治精神
- 琵琶湖水運物流拠点と京阪神・東海・北陸の交通の要衝
- 明治以降は浜縮緬・蚊帳・ビロード等いわゆる「糸偏産業」により発展、近代化へ

## 町衆文化 曳山まつり

長浜独自のまちづくりの根底  
誇るべきまつりを次世代に引き継ぐ



平成28年12月  
ユネスコ  
世界無形文化遺産  
登録

## 衰退する中心市街地

S54(1979)秋、中心市街地に立地する2つの大型店舗から郊外への出店申請

車社会の進展により市街地の郊外への拡散化  
産業界全般の低調、求められる都市全体の活性化策



中心市街地から人が姿を消し始め、伝統的な人口集積地域が衰退



核を失い、スプロール化した中心市街地

## 商店街再生のドラマの始まり

### ＞ 市制40周年

昭和58年、市民からの浄財4億3000万円をもとに秀吉公が築いた3層5階の城が復元

400年ぶりの再建を祝い「長浜出世まつり」と銘打って各種イベントが開催された

この盛り上がりがまちづくりの端緒となり、その後の大きなエネルギーに

### ＞ 博物館都市構想の策定

昭和59年「市民が育んできた文化や伝統的なまちの雰囲気現代の生活の中に生かして、まち全体を博物館のように魅力あるコトやモノで覆い

個性ある美しいまちとして住んでいこう」という基本構想が策定される  
その後のまちづくりは、この構想をもとに進められることに

## まちづくりの3つの流れ

### ＞ その1. 市・商工会議所・商店街

「種まき」事業具現化の様々な仕掛けづくり

まちかど整備事業(S61)、商業観光パイロット推進事業(S62)等を制度化、  
駐車場の整備(S62)とアクセスの改善等

### ＞ その2. ながはま21市民会議(青年会議所OBが中心)

ビッグプロジェクトの提案・具現化

JR直流通、長浜ドームの建設や大学誘致など、大きな夢のあるプロジェクトを提唱し、具現化に至るまでの息の長い活動は、多くのまちづくりリーダーを生み出した

### ＞ その3. 株式会社黒壁

まちづくりを牽引

黒壁銀行の保存問題がきっかけで設立された第3セクターの活動が今日の賑わいに

## 黒壁の誕生(昭和63年4月)

### ✓ 第3セクターでの設立

★出資金1億3000万円(民8社と市)

※倉庫業、不動産業、服飾卸、酒販売業、建築業、金属加工業、ホテル業、金融業

### ✓ 3つのコンセプトによる経営

★歴史性

⇒秀吉公以来400年続く歴史あるまち

★文化芸術性

⇒誇れる文化芸術性にまで高める

★国際性

⇒世界に発信できる国際性を持たせる

### ✓ 事業展開

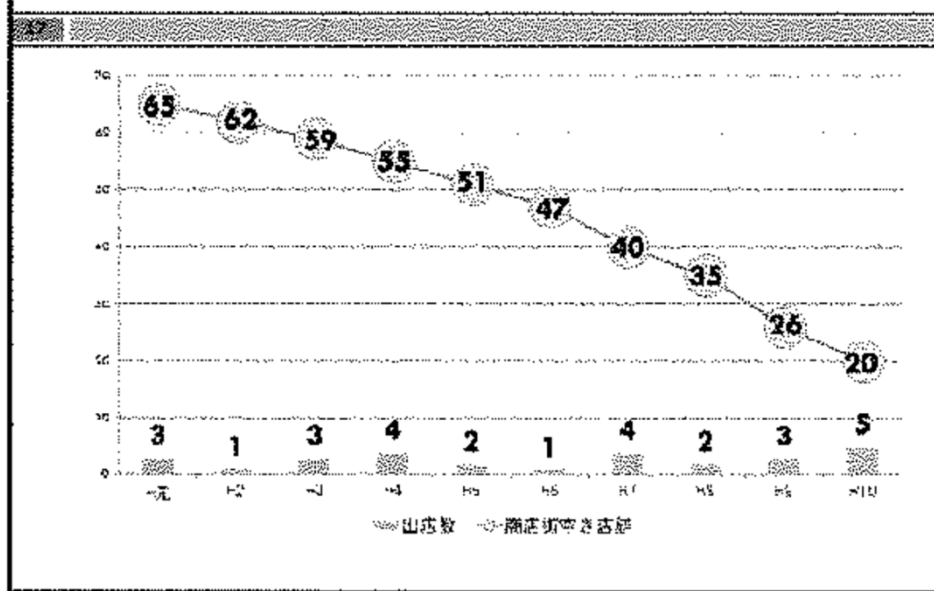
大型店(お金の力)では真似のできないこと、地域の産業を圧迫しないこと、3つのコンセプトを満たすもの ⇒ ガラス

## 黒壁の発展期(平成3年～10年ごろ)

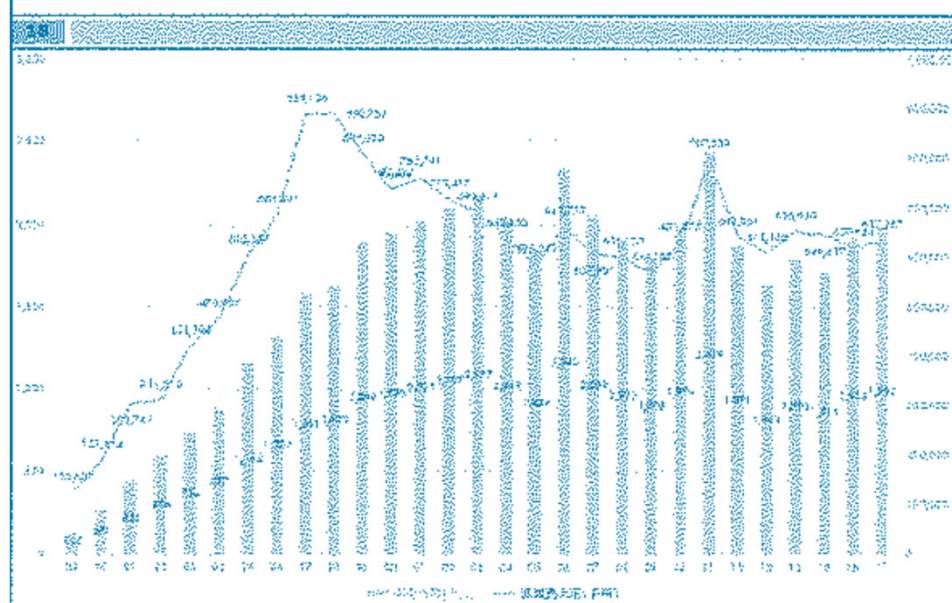
- JR直流化による効果(H3～)
- イベントのタイミング  
(大河ドラマ関連「秀吉博覧会」H8)
- 北国街道・博物館通り・ゆう壺番街の整備
- ふるさと情報誌「長浜み～な」の創刊
- 民設民営施設(成田美術館・アートセンター)の整備

多様な主体による取組みの連鎖

## 出店数と空き店舗 \* 周辺5商店街の推移



## 販売額と来街者数の推移



## 美しい観光地づくり推進事業(S61~)

### ■内容

既存の観光資源を活用するため、歴史・自然・芸術等の要素を加味した新たな景観・環境を創出する事業に補助

### ■補助率

対象経費の1/2以内 \* 限度額200万円

※総事業費100万円以上の事業に限る

### ■効果

①新たな魅力の創出 ②回遊性の向上 ③観光資源の再見

## 黒壁が中心市街地にもたらしたもの

### ひと

- ・参加意識の変革
- ・雇用の創出
- ・交流人口の増加

### 地域

- ・空き店舗の解消
- ・まちなみ景観の再生

### 文化

- ・新たな文化の創出



END

人がたくさん来て  
街が衰退したら終わり

市単独では街づくりはできない

**民間の力が大切**

まちづくり役場に  
借金が存在しない

行政にお金をもらって良いことはない

**自分の頭で考えろ！**

**ハコモノやコンサルで街が変わることはない**

# 岐阜県美濃市

美濃和紙用具ミュージアム ふくべ

## 学校再編成(小中学校の統廃合)の状況

平成13年度

小学校 11校  
中学校 3校



現在

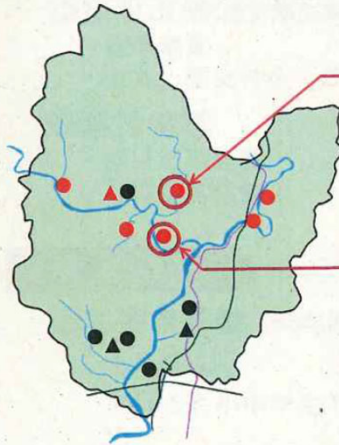
小学校 5校  
中学校 2校



平成24年度までに  
7校が廃校

## 廃校の活用③

現在



### 用途③ 地方創生交付金を活用した 施設整備(2校)

#### 【美濃和紙用具ミュージアムふくべ】

- ◎校舎の一部(1～2階部分)を活用
- ◎紙すき用具等(民俗資料)を展示する観光施設
- ◎平成30年7月オープン

#### 【みの木エエ房 FUKUBE】

- ◎校舎の一部(2～3階部分)を活用  
※1階部分は保育園に譲渡
- ◎木工業の振興、木育推進の拠点施設
- ◎平成30年6月オープン

## 美濃和紙用具ミュージアム

### 目的

- ◎市北部の活性化  
・美濃和紙の里会館と連携した観光拠点
- ◎和紙産業の振興  
・用具製作後継者の育成
- ◎地域交流の推進  
・地域交流センターとしての活用

### 経緯

- ◎市有財産(廃校)の有効活用  
・財源を確保した上での施設リニューアルが、地方創生交付金制度によって可能となった。



# 美濃和紙用具ミュージアム

## 改修・運営費用

### ◎施設改修(地方創生拠点整備交付金活用)

- ・総事業費 75,244千円
- ・うち、国交付金 29,181千円

### ◎維持管理

- ・維持管理経費 4,110千円(R5年度実績)
- ・管理運営体制 市直営(一部業務委託)



## 実績、効果

### ◎年間集客数 (R5年度実績)

- ・306人  
(うち小中学生144人)

# 質問 1

## 地元との合意形成

### ◎和紙に関わるミュージアムであったことで受け入れやすい

- ・昭和16年198軒
- ・平成30年2軒

### ◎維持管理

- ・維持管理経費 4,110千円(R5年度実績)
- ・管理運営体制 市直営(一部業務委託)

## なぜ美濃和紙か

### ◎民俗資料調査～(H21～)がベースにある

- ・和紙用具387件他の資料がすでに整備されていた

## 質問 2

### 地域再生計画認定のメリット

|             |      |          |
|-------------|------|----------|
| ◎施設改修費      | 総事業費 | 75,244千円 |
| 地方創生拠点整備交付金 |      | 29,181千円 |
| 地方創生推進交付金   |      | 1,500千円  |

### 認定への留意点

地域課題の分析や地域資源を活かした事業内容を重視

## 質問 3

### 管理コスト・入館料・来館者数の推移

#### ◎管理コスト

・H31 6,014千円 R2 3,748千円 R3 3,546千円 R4 3,901千円  
R5 4,109千円 R6 9,613千円

#### ◎入館料・使用料収入

・H31 35千円 ・R2 30千円 R3 33千円 R4 55千円  
R5 62千円 R6 57千円

#### ◎来館者数

・H31 1,332人 R2 386人 R3 375人 R4 316人  
R5 416人 R6 384人

### 運営における財源構成

◎市一般財源・使用料を充当  
(R8年度予算4,801千円)

## 質問 5

### 伝統文化と廃校利用を結び付けた効果

◎地元小学生の郷土学習の場を提供

◎伝統産業の「伝統」の部分が見える化で  
きる(先人の苦勞)

### 他地域への応用可能性